



# ERFC Newsletter

ユーノスロードスターファンクラブ通信 2018 vol. 1

## E. R. F. C. 清里ミーティング報告号

### 『ER.F.C.清里ミーティング』へのご参加ありがとうございました！

今回もまたすっかり年が明けて桜の季節も過ぎてしまいました。大変長らくお待たせしましたが、昨年の清里ミーティングのご報告をさせていただきます。

と言う事で、まずは会長のご挨拶から。

清里ミーティングにご参加のみなさん、こんにちは。今回は受付開始直後に申し込みが殺到してサーバがパンクしたり、直前には台風が来ることになって開催が危ぶまれたりといろんなことがありました。28回目にもなるのに初めてのこともあったりしてスタッフも混乱していろいろとご迷惑をお



かけしたかもしれません。キャンセルのご連絡もいつになく多く、一時はどうなることかと思いましたが、台風も心配してたほどではなく、さすがに牧草地にクルマを並べることはできませんでしたけど、なんとか無事に開催できました。本当にありがとうございました。

片付けをしてから晩ごはんを食べてたらタイミングを逃したのか中央道はかなり酷い雨で、トンネルを出る度に怖い思いをしながら帰りました。みなさん無事に帰宅なさってますよね？雨漏りくらいはしてると思いますけど。

もしまた来年もやることになったらまたお会いしましょう。てるてる坊主コンテストでもやりましょうか。

(ひでまる)

## イベント報告

今回で28回目を迎えたERFC清里ミーティング。既に会長が、さらにもスタッフのみんなも書いていますが、幾多のトラブルを乗り越えて(?)の開催となりました。

さて、そんな今回の研修内容(@清泉寮)は・・・

ついに待望のゲストとして、NDのチーフデザイナーであり現主査でもある中山さんをお迎えすることができました。昨年の「歴代デザイナーそろい踏み」での無念の欠席から一年。満を持してのご登壇となりました。

出てきたのは今のマツダデザインについて。そしてNDのこだわりに関するあんな話やこんな話。今回もご参加いただいた商品本部の山口さんとともに、参加者の皆さんが気になるあんなことやこんなことにもお答えいただきました。

いやあ、諸般の事情でこれ以上は書けないのが残念です。あの講演の内容は当日あの時間を共有できた皆さんの心の中だけに。なお、質問の一部を含む当日の様子は発売中の『ROADSTER BROS. vol.13』に写真とイラストで載っておりますので、気になる方はぜひともお買い求めください。(微笑)

また、昨年の清里で幸運にもNAからNCのデザイナーのサイン入り「100万台記念パッケージもみじまんじゅう」をゲットした皆さんによる即席のサイン会が開催されました。1年越しのコンプリートですね。

そんなこんなで室内では熱い話に盛り上がっていた清里ミーティングですが、今回は台風接近で雨が降り続いたため、恒例の集合写真はもちろんとして駐車場で車談義ができなかったんですね。

なにしろ2週連続の台風接近と長雨で牧草地は長靴でも足を取られそうなぬかるみと化しており、急きょ手前の砂利のエリアを駐車スペースにせざるを得なかったぐらいですから！

降り続く雨の中で駐車場まで戻るのも大変な上に台風接近による強風も懸念されたため、ショップ等もすべて室内に配置させていただきました。例年よりスペースも狭く、皆さんにはご迷惑をおかけしました。





そんな状況の中でしたが、お昼の清里弁当は当然健在！例によってお弁当の丸政さんには今回も頑張っていたいただいておいしいお昼となりました。ちなみに委員長は前日のお昼にも小淵沢駅で買ってきた丸政さんの駅弁「高原野菜とカツの弁当」をいただいております。

ちなみに恒例のオリジナル掛け紙は前年のゲストの集合イラストでした。そして今回は当たりの数も以前のように増量しました。まあ、粗品程度ですが縁起物と言う事で。

そして昼食後に例年なら午後のフリータイムとなるところですが、夕方以降、台風接近による一層の天候悪化が予想されたためイベントスケジュールも切り上げて恒例の閉会式と言う名のじゃんけん大会に突入。実際、鉄道で広島にお帰りになった山口さんは念のため閉会式途中で現地を後にされましたが、そのあとの電車からJR中央線が運休になり、間一髪で広島にお帰りになることができたとか。

さて、話をじゃんけん大会に戻すと、毎回何故か(?)賞品を提供してくださる奇特な参加者の方がいらっしゃるのですが、今年は参加できなかったと言うのにわざわざ賞品としてお米を清泉寮までお送りいただきました！千葉の吉野さん、ありがとうございました！

そしてすっかりメインの賞品として定着してしまったNAのデザイナーである福田さんご夫妻によるオリジナルグッズの数々。半スタッフや業界人(!)も交じって(いえ、どちらも参加者ですからいいんですよ)の争奪戦の末、勝者にニコニコ顔で引き取られていきました。

何故か毎回「〇年間参加し続けて、初めてじゃんけん大王に勝てました！」と言う人もいれば、毎年なにがしかを貰っていたりその日だけで二度、三度と勝ち抜く人がいたり・・・まさに人生いろいろですね。(大げさ)

と言うわけで、短縮構成となった今回の清里ミーティング。天候悪化する前、14時過ぎの解散となりました。

悪天候の中、現地までお越しいただいた参加者の皆さん、ゲストの皆さん。ありがとうございました。受付直後の熾烈な参加者争奪戦に敗れた皆さん、台風のため参加を断念した皆さん、次回こそ是非清里でお会いしましょう！



(まめぞう)

では、以下はスタッフからのひと言ふた言。

あ！冒頭の会長挨拶も含めてそれぞれの文中に「来年」とあるのは、前回同様に原稿は年明け前にもらっていたからです。そこはもう大人の対応として生温かく見守っていただきたく・・・すいません。

と言うわけで、まずは「ナナメ45度に並べ隊」こと駐車場係のお二人から。

---

### 「雨の駐車場 ～ぬかるみには勝てず～」

駐車場係をしています、長谷川です。

今年は悪天候というにも程がある、台風接近の中多くの方に足を運んで頂きありがとうございました。

毎年のことですがスタッフは前日に清里入りし、普段駐車場ではない牧草地に停める為ライン引きなど準備をするところですが、台風が来る前からの長雨もあり牧草地はグチャグチャ・・・、ただでさえとてもスリッピーなのにこれではスタック車多数になるのは間違いなく、早々に諦めなくてはなりませんでした。



急遽貸して頂いた砂利駐車場でしたが、参加者全てを停めるにはギリギリだけど、悪天候の中詰めて停めて貰うには申し訳ないし、もうチョイ広くとか、ここもう一台詰めて停められるかなとか、バタバタした誘導で申し訳ありませんでした。

とはいえ、事故もなく無事に開催出来、ほんと良かった。

来年はまた晴天の元、皆さんにお会い出来ることを祈っております。

(なみちゃん)

---

### 「駄菓子屋さん」

駐車場係の前田です。みなさんをご存知でしょうか。中央高速の須玉ICを下りて清泉寮に向かって数分走ると、右側に平行に走る道路がありその道沿いに昔ながらのお店があります。店内にはお菓子とおもちゃ。入り口の扉に「お餅あります」みたいな貼り紙があったようななかったような。

店内は薄暗くひと昔前のおもちゃが並んでいます。駄菓子屋に売ってるようなおもちゃや「たごっち」みたいなヤツとかブリキのおもちゃ、バルサ材と薄い透明フィルムで作る超軽量飛行機、BTFのデリアンのプラモデルなどなど。一瞬昭和の時代にタイムスリップしたような気分になります。そんなに超レアな商品があるわけではありませんがちょっと楽しいです。

ひとしきり見てまわり、何も買わないのも失礼なので、自分が以前乗っていたレガシイのプラモデル、ロードスターが発表される前に本気で購入を考えていたMG Bのプラモデルやおせんべを持ってレジへ。そしたらお店のおばさんが黒糖飴をひと袋おまけに付けてくれました。

次回の清里ミーティングはぜひ、よい天気恵まれて「ななめ45度駐車」に取り組みたいです。また清里で会いましょう。

(前田 浩一)

## 「受付開始と当日の天候と・・・～電脳報告～」

ここ2・3年、数日で予定台数が埋まってしまう状況のため、募集開始に気づかないうちに枠が埋まってしまう事は避けようと、今回は事前に9/15に受付開始という案内を差し上げて当日を迎えたところ、1日で枠が埋まってしまいました。

それどころか9/15 0:00に一斉に到着したメールでメールサーバにトラブル発生し、エラーメールが返送されていたようです。それが新たな申し込みメールの再送を呼び…

大変ご迷惑をお掛けしました。受付については毎年試行錯誤中ですがなかなかうまくいかないモノです…。重ね重ねすみませんでした。

ミーティング当日に向けては、台風の接近が予想されるなかでホントに開催するのをお問い合わせをいただき、唯一リアルタイムに近い形で情報をお伝えできるWebとFacebookに最新状況を随時更新することとしました。

参加予定の皆様にご提供できたかは怪しいかぎりですが、結構な人数の方に見て頂けたようで最低限のことは出来たかなと…。

(わだ)



## 清里 2017 スナップ (その1) ～そんなわけで今回はほとんど室内の風景なのです～



---

## 「28 回目のすったもんだ」

今回の清里ミーティング、お陰様で教えて 28 回目となりましたが、ユーノスロードスター (NA) が空前の売れ行きを見せていた当時に開催された数回を除けば、実参加台数が応募開始早々 100 台を超えることなんて、まあそうそう無かったわけです。それが今年、応募受付開始と同時にいきなりメールが 15 通飛び込んでくるわ、1 時間で 100 通超えるわ、でもそれはエラーによる再送分を多数含んでいたことに後から気付いてアせるは、、本当に 100 通超えたのはそれでも 24 時間後だったのですから、正直ぶったまげました。いやあ、皆さんおかしい！



あ、いやその前に、大変ご心配とご迷惑をおかけしました。m( )m

ご迷惑といえば、更に当日朝も、所定の時間になっても受付を開始できないという前代未聞の状況が勃発。お待たせした皆さんには大変申し訳ありませんでした。もっともこちらについては原因を作った当事者から（言い訳か誰かに擦り付けるかは分かりませんが）、別稿で説明があるものと思っております。（ね、豆蔵さん！）

メールのエラーから始まり、キャンセル待ち、ハガキによる応募とメールによる応募のタイムラグ、台風の直撃等々、清里へ皆さんにお越しいただくまでの間の数々の手続きやタスクについては、まだまだ見直すべき点が多いという現実を改めて突き付けられた 28 回目となりました。

来年もし開催するのであれば、何かしらの改善を行うぞ！っということを今からお約束したいと思います。とは言えまだノープラン・ノーアイデアです。某巨大イベントに倣って往復はがきにするのか、メールだけにするのか、伝書鳩、狼煙、念力・・・まったくわかりませんが。

せめて、ドタバタは自分だけに止めたい、と日記には書いておこう。（古い！）

（つのがやま）

---

## 「アカンもんは、アカン」

ワタシは関西、というより大阪の生まれ育ちである。それも一般的にかなり庶民的（笑）と言われる南のほう。いわゆる泉州である。

そしてワタシの子ども時代は、今のようにウツカリ声をかけると即不審者扱いされるようなことはなく、友達のおばちゃん、見知らぬ人もガンガン関わってくるのが当たり前だった。むろん、皆さん「大阪のおばちゃん」である。漫画の『じゃりん子チエ』の世界、ほぼあのまんまだ。

大阪のおばちゃんと言っても当然個性がある。口やかましいオバチャンもいれば、ニコニコして全然怒らないオバチャンもいた。子どももちゃっかりしたもので、「あのオバチャンは怖いから見かけたら逃げろ」とか「あのオバチャンは怒らへん」とか、器用に見分けて対応していた。

そんなある日、ワタシの同級生だった男子数人がやらかした。授業で取り上げて読んだ本に触発されて家出を試みたのだ。そのころはゲームもなくインターネットもなく、もちろんスマホもないので子どものアタマは今より単純だったかも知れないが、それにしても「えらいことするなー」と思ったものだった。

けっこうな騒ぎになったものの、小学生の家出であり、そう遠くへ行く手段はない。家出した翌日の夜には、冒険を満喫した彼らは無事帰宅した。

家出した一人を A 君とする。彼の母はとても大人しくて品が良くて優しいことで知られていた。息子の家出に心を痛め、泣き続けていたのだろう。一方 A 君の方はのんきなもので、帰宅したら母が泣いていたので大いに驚き（自分のせいだとは露ほども思っていない）「おかあちゃん！どないしたん、誰か死んだんか？」と声をかけた。

一瞬で品の良い母が最強レベルの泉州のオバチャンに変貌した。

**「誰が死ぬかあああつ！アンタが家出なんからするからやらがあああつ！もっぺん言うてみいひひひひ！」**

どんなにおバカであっても彼らなりに家出の理由はあり、半泣きの A 君は母に必死に説明しようとしたのだが「**アカンもんはアカンねん！**」や「**あああ！アホウオオオオオオー！**」・・・粉碎、のち終了。

後日、その様子を「ホンマ、怖かった・・・」としみじみ語る A 君に「当たり前やろー」とツツコミながら、ワタシたち同級生は（あの優しそうなおばちゃんがなあ・・・）と静かに戦慄したものであった。

その後しばらく、教室内の流行語が「アカンもんはアカンねん！」になり、それを聞くたびに A 君が少し微妙な顔になっていたのを覚えている。

あれからずいぶん時間がたち、ワタシ自身も押しも押されもせぬオバチャンになった。時代も変わって、いろんなことがあいまいになったり微妙になったりしている。気を遣わないといけないことも以前より多い気がする。それでも、というか、だからこそというか、近頃あの言葉を思い出すことが増えた。

「アカンもんは、アカンねん！」

そう、いくつになってもいつになっても、それだけは忘れずに。

（つのやま@にし）

---

## 清里 2017 スナップ(その2)

今年はショップやスワミはホール内の限られたスペースとなりました。予約生産するNDのシャシー1/12モデルの展示もありました。ただ例年のように駐車場にまで行く手間は省けたものの、それぞれ前に2,3人立つと満員御礼状態でしたね・・・すいません。



## 『編集後記』

何度も書いているように今回は1週間以上続いた長雨と台風接近の中での開催となり、参加の皆様にはご不便をお掛けしました。その上、受付開始時間になっても受付を開始できないと言う大失態！それは私が皆さんにお渡しするネームプレートを会場に運び込むのを忘れていたから！！誠に申し訳ございませんでした。かくなる上はこの腹搔っ捌いて・・・あ。そんな腹切っても脂肪しか出てこないんだから止めとけて？失礼しました。。

そんなわけで牧草地エリアに駐車するようになって10年以上になりますが、これまで濡れた牧草で滑ることを懸念したことこそあるものの、今回のようにあちこちで靴が沈むようなぬかるみになってはとともロードスターで入れる状態ではありませんでした。この事態に清泉寮さんとの相談の結果、急きょ通常は駐車場入りの待機エリアとしている部分を駐車場とさせていただきます。皆さんにご協力いただきながら毎年綺麗な並びを実現している「ナナメ45度に並べ隊」こと駐車場係としても苦渋の決断でした。

ただ、結局一日中の雨でしたので牧草地に綺麗に並べられても見た目を楽しむ余裕はあまりなかったでしょうかね。

そんなわけで午後のイベント自体も台風接近のため、少し早めの撤収となってしまいました。

台風が通過した翌朝の清里は、風が残るものの天気も回復し「ああ、一日ずれていればなあ」と、スタッフにはよくある「清里あるある」を感じさせる回復ぶりだったのですが・・・

高速道路情報をみるとまだ台風の影響が残る関東方面は軒並み上下線とも通行止め！

さらに朝食後に先行して出発した広島帰還組からは、八ヶ岳高原道路が倒木でふさがれて通行できないとの情報も！（その後、地元の方が斧を持ち出して1車線分だけは通行可能になりましたが）

これは台風通過後だったら、関東から参加の皆さんは遅刻どころか出発すらできない人が続出したであろうなあ、と少しだけほっとしたり・・・

こんな派手なイベント(?)はこれっきりにして、次こそは青空の下で楽しみたいですね。

ではみなさん、今年もまた清里でお会いしましょう！

(E.R.F.C. 清里ミーティング実行委員長 兼 編集担当：まめぞう)



**ERFC Newsletter**  
ユーノスロードスターファンクラブ通信  
**2018 vol. 1** 2018年4月吉日発行

EUNOS ROADSTER FAN CLUB 事務局；埼玉県上尾市井戸木4-22-22 角山方  
E-MAIL: info@erfc.sakura.ne.jp URL: http://erfc.sakura.ne.jp